

■ 子どもの貧困対策について

1 子どもの貧困対策協議会の立上げ

- ① 目的：子どもの貧困対策の充実のため、学識者、市民等を含む協議会を立ち上げ、「基本方針」を策定する。それを踏まえ、各機関がしっかりと連携をし、総合的に支援をしていく。
- ② 委員構成：学識者 2 名、公募市民 2 名、子どもの貧困対策に関する活動を行っている者 3 名、民生・児童委員 1 名、小中学校の代表者 2 名、市職員 6 名（計 16 名）
- ③ 平成 28 年 7 月 14 日（木）：第 1 回を開催
 - ・ 会長：阿部彩氏（首都大学東京 都市教養学部教授 子ども・若者貧困センター センター長）
 - ・ 副会長：福田憲明氏（明星大学 人文学部教授 心理相談センター長）
- ④ 平成 28 年 9 月 30 日（金）：第 2 回を開催
- ⑤ 第 1 回～第 2 回では、主に現状把握と意見交換を行った。
- ⑥ 平成 28 年 11 月 14 日（月）：第 3 回を開催
- ⑦ 第 3 回では、主に基本方針の構成案と施策体系図について議論した。
- ⑧ 今後の予定：第 4 回を平成 28 年 12 月 19 日（月）に開催予定
- ⑨ 平成 28 年度中に、基本方針と目標を定めた総合的な施策展開も、策定予定

2 子どもの生活実態調査

- ① 東京都が都内 4 自治体についての、子どもの生活実態調査を実施（郵送によるアンケート）
 - ・ 4 自治体（日野市、調布市、墨田区、豊島区）を対象に、8 月に実施済み
- ② 調査対象（平成 28 年 7 月 11 日現在） ＊本人及び保護者
 - ・ 小学校 5 年生（10 歳～11 歳） 1,482 人
 - ・ 中学校 2 年生（13 歳～14 歳） 1,668 人
 - ・ 16 歳～17 歳（高校 2 年生等） 1,712 人
- ③ 主な調査項目
 - ・ 子どもの普段の生活について
 - ・ 食事や健康のことについて
 - ・ 学校や勉強のこと
 - ・ 将来の夢や、普段考えていること、など
- ④ 東京都が首都大学東京（子ども・若者貧困研究センター）に委託して実施
- ⑤ 回収率は 45.9%
- ⑥ 平成 28 年 12 月には、調査結果分析の速報値が出る予定

3 子どもの貧困対策庁内連絡会

- ① 子どもの貧困は、多くの問題が複合的に絡んで発生している。そのため、庁内の多数の課が、様々な立場で関連している。⇒ 課の垣根を越えたしっかりとした連携がより必要である。
- ② 子どもの貧困対策庁内連絡会を設置（より関連の深い7部13課により構成）

4 子どもの貧困対策議員連盟について

- ① 平成28年6月9日設立 ＊市議会4会派
- ② 平成28年9月29日に、市長へ提言書を提出
＊内容：子どもの貧困対策についての、政策提言（4分野31項目）